

## 松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会（第8回）開催概要

日 時 平成 31 年 2 月 18 日（月） 14：00～15：30  
場 所 松戸市役所 新館 5 階 市民サロン  
出席者 秋田典子、石井久雄、影山貴大、高山健太郎、富永尚次、中臺雅樹、  
（敬称略） 野中範郎（欠席：高橋裕樹）  
  
事務局 松戸市総合政策部政策推進課市政総合研究室

### 1 「開会」

- 出席者からひとこと
- 事務局の紹介

### 2 「懇談（松戸市総合戦略等の検証について）」

- 事務局から説明
  - ・ 最新データで見る松戸市の人口動向（資料 1）
  - ・ 総合戦略における数値目標・重要業績評価指標の現状値（資料 2）
- 検証結果（出席者の評価及び意見）

- ・ 人口動態について、市川市から流入が続き、柏市・流山市に流出するという傾向について、この原因について関心がある。いろいろ探っており、見当はついているがはっきりとは分からない。地価だけでは語れない部分があると思っている。決定的な要因が何か、もう少し分析できると良い。市川に近いところの人口が増えて、柏・流山に近いところの人口が減っているかというところもそういう訳でもない。この傾向は 2000 年頃からずっと続いているものである。原因がわかるといいと思っている。
- ・ どこでも問題になっていることだが、共働き世帯が増えており、本日の K P I の現状値の資料でも入所保留を含む待機児童数も増えている傾向にあり、そのようなことも居住地選択の重要な要因になっている。そういった値と人口動態について関連があるのか気になっている。
- ・ 人口動向に関する資料の 3 頁において、平成 30 年 3 月における生産年齢人口が対前年で 419 人増となりこれまでの減少傾向から転じたことを嬉しく感じている。生産年齢人口の増加は担税力の向上にもつながる。これはこれまで松戸市が行ってきた施策の効果が少しは反映されてきたのかなと感じている。

- ・人口動向に関する資料の 8 頁の下段にある 20～29 歳の動向について、転入ももちろん増えているが転出も大きく増えており、確かに数値としては転入超過となっているが、実感として相当な数の転出とを感じる。主観的かも知れないが私も松戸出身だが地元の友人たちの多くも転出している。特に松戸に住みたくなからとかではなく、仕事の都合での転出が多いだろうと考えているが、その理由の分析も必要ではないか。
- ・K P I の現状値については、今回、特に感覚を問うような値が下がっている傾向にあるように感じる。例えば、資料 2 の 16 頁にあるまちの賑わいや買い物の満足度の K P I については基準値よりは上がっているが昨年より下がっている。これは伊勢丹の撤退などの要因もあるかも知れない。
- ・また、資料 2 の 6 頁にある市立高校の生徒・保護者の満足度のうち生徒について、高水準ではあるが昨年より下がっている。残りの 18% の生徒が満足していない理由に寄り添うことが松戸市の魅力を発信するキーになると感じている。
- ・資料 2 の 10 頁にある認知症サポーター数は増えてはいるものの活躍の場がないという市町村が多い。講座系の K P I の場合は純粋な参加者数だけでなく、その後の受け皿、カウンターパートとしての機能でどうやって実践の場を提供するのか、婚活のイベントに参加したらその後どうなったのかを追っていくようなことも担当課ではやっているのかも知れないがフォーカスしてほしい。
- ・人口動向について、右肩上がりに増えていて喜ばしいことだと思っている。
- ・船橋市において高根公団や今度は北習志野の公団をリニューアルしていくようだが、松戸市は公団のリニューアルがまだ進んでいないのかと感じている。
- ・K P I の資料では、婚活の支援について関心があるが、いろいろと取り組んでいるが、なかなか本人たちの意思もあることなので難しい課題だなと感じている。
- ・女性の悩みや問題に係る講座等の参加者数について、こういった講座へのニーズは必ずあると思うので引き続き取り組んでほしい。
- ・三世代同居の支援について、都内だと 30 坪くらいの土地が多いが松戸市

の場合は区画が 50 坪程度あるところが多く、建て替えの時に二世帯住宅にできる余地もあり、メリットも多いので引き続き進めてほしい。

- ・教育に関しては、市立高校に関する K P I があるが、最近では大学受験が変わりつつあり、それに対応すべく中高一貫化の流れがある。そういったところへの松戸市としての対応も検討できるのではないか。私立だと費用もかさむため公立中高一貫なども検討して取り込めないかと感じている。
- ・身の回りにいる松戸市在住の主婦層にお話を伺うとやはり都内の私立高校へ入る方が増えている。
- ・松戸市は外国人が相当に増えているという実感がある。入管法の関係もあり、その傾向に拍車がかかっており、不動産にあっても購入する外国人が増えているという話を聞いたことがある。外国人の増加は肌で感じており、町会でも話題になる。外国人が増えるに連れ、多文化共生に対応した街のコミュニティのあり方も変えていかなければならないと感じた。
- ・K P I に関しては、まちの賑わいや買い物の便の満足度について、昨年より下がっているが、これから伊勢丹跡地の商業施設や北部市場跡地のショッピングモールが開業を控えているので、期待できると思っている。
- ・外国人は大学でも増えており、家族を持つ留学生もいる。外国人は地域のコミュニティの支援が受けられないということで出産後のケアなども必要ではないか。
- ・外国人の受け止めについては積極的に受け入れるということであればどんどん進めてほしい。
- ・外国人の対応については窓口での総合的な対応について検討を進めていかなければならないと考えている。
- ・松戸市の人口は千葉市、船橋市につづく 3 番目の人口規模を誇っていたが、昨年市川市に抜かれて 4 番目になってしまった。
- ・先ほどから話が出ていたように、同じ常磐エリアの柏市・流山市に人口が流出している原因を分析することが必要だと感じる。T X の開通で開発が進んでいることは理解するが、ポテンシャルはあるのだから積極的に対策を打っていかなければならないと考えている。

- K P I に関して下がっている項目についてそれぞれ説明を頂いたところだが、下がり続けて目標値と乖離してしまっている項目について、例えば資料 2 の 9 頁にある生きがい感を持っている人の割合について、それなりの対策を講じていくべきと考えている。
- 人口については住民登録の数である住民基本台帳人口と、国勢調査を基にして住民基本台帳の増減を加えた常住人口があるが、千葉県の方では常住人口の数値を公表しており、常住人口で市川市に抜かれてしまったが、住民基本台帳人口は松戸市の方が多いような状況にある。
- K P I の数値目標の達成方法について、21 世紀の森と広場来園者数について高い目標が掲げられているが、北部市場跡地のテラスモール（仮称）のオープンなども加味したものか。または、イベントの入れ込み数を加味してのものか。できればテラスモールと 21 世紀の森と広場の間にシャトルバスを通すとか、なにかしらのイベント連携がされるともっと来場者数も増えることと考えている。
- 戸定邸について、もっとお金をかけたプロモーションをかけると、もっと来場者が増えると思う。
- 一昨年、松戸市は共働き子育てしやすい街ランキングで 1 位だったのでそれを期待して転入された市民も多いと思うが、きっと保育園も足りなくなってくると思うので、今後どのように保育園の定員や施設そのものを増やしていくのか数字がわかれば教えてほしい。
- K P I の資料 16 頁に事業所数の数値があるが、これが減っている。企業体は業績が上がれば人も増えるということで、事務所が手狭になると、移転など考えているところもあると思うが、市内には大きなオフィスビルがなく、選択肢がない。オフィスビルなど不足していると思うので今後の展望があれば教えてほしい。松戸駅前再開発についてはどうか。
- (事務局コメント) 21 世紀の森と広場の来場者数の K P I については総合戦略策定時、テラスモールの計画はなかったため考慮していない。K P I はその性質上ある程度厳しい目標を設定していることにご理解頂きたい。また、保育所の児童数について、現状把握していないので調べたのち回答する。事業所が減っていることについて、商工会議所と課題共有したい。
- 松戸市の事業所が減っていることを肌で感じており、事業再編の折に柏に移ってってしまう事例がある。オフィスビルがないことはもったいない

ことだと思う。

- ・松戸駅前の新拠点ゾーンについてはまだまだこれからという話でいまだ都市計画決定もしていない。
- ・大学としても松戸駅前では国際会議などもできないので苦勞しておりポテンシャルはあるのにもったいないと思っている。
- ・柏の葉や千葉のほうに持っていかれてしまう。
- ・事業所の流出と人口の流出要因はもう少し調べてみるべき。見た目の人口は増えていても、原因分析して対策すべきと考える。
- ・比較しているのは東葛エリアだけのようなのだが、印西の方も人口が大きく増えているのでそのあたりも分析してみてはどうか。
- ・印西市の住民満足度は必ずしも高くはない。北総線運賃問題などもある。ホームセンターなどはあるが商業系は少し課題がある。住民の方たちが何を求めているのかそちらをワークショップなどで掴んでいくことが大切。
- ・高齢者の生きがい感が低いというのは少し怖いと思う。
- ・例えばビックデータではないが google 等の検索で松戸と一緒に検索されているキーワードから松戸に期待していることが見えてくると思うので「松戸 ラーメン」とか「松戸 戸定邸」など季節によっても違う傾向が出てくるのでそこにヒントがあるのではないか。
- ・10～20代の学生たちと話しているときに報道系のテレビ番組で松戸市出身の人気声優がいるということで、若者の中ではフィーチャーされているようで、そういった方がプラネタリウムをもっと広めれば・・・といった声もある。
- ・松戸といえば「ねぎ」という声も最近聞こえてきている。テレビでも立て続けに取り上げられている。ねぎの屋台なども人気になると思う。
- ・今年は21世紀の森と広場で全国「ねぎサミット」を開催予定。矢切ねぎ、あじさいねぎと松戸ブランドのねぎがある。
- ・新拠点ゾーンではそういったローカルフードを食べられるスペースも必要

ではないか。矢切ねぎを食べる機会はほとんどない。愛着を持ってもらう必要もある。

- ・ 当懇談会のようにK P Iの検証の場は必要と思うが、せっかく多くの分野の方々に出席して下さっているので、新しい施策についてもっとざっくばらんにフランクな雰囲気で見解を出し合える場があってもいいと思う。みなさんの意見をもっと聞きたいと思っている。

### 3 「事務局からの報告」

#### ○ 事務局から説明

- ・ 懇談会での意見等は、庁内関係部署にフィードバックする。
- ・ 懇談会の資料及び懇談概要を松戸市のホームページに掲載する。

### 4 「閉会」

以上